

ヴォリュームアキュライザーの導入(11)
ーデジタルアンプへの適用(1)ー

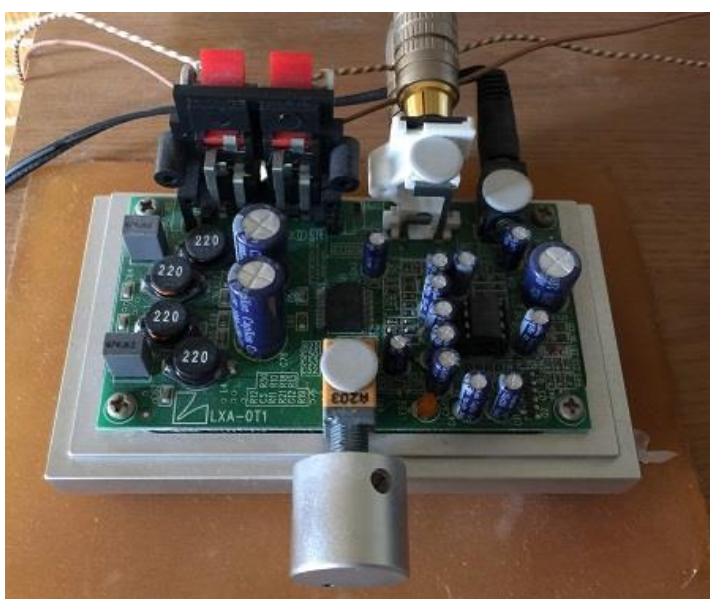
1. 始めに

今回は、ステレオ誌付録のデジタルアンプに適用してみます。

2. ヴォリュームアキュライザーVRA-7の試聴方法

今回は、下記システムを使用して、CD再生でのVRA-7の効果を確認します。

[ミニシステムの整備\(2\)](#)で報告した、SS誌付録のデジタルアンプLXA-OT1とCECの携帯CDプレイヤーでISOPHON 10cmフルレンジを駆動するシステムです。このLXA-OT1のヴォリュームにVRA-7を貼りつけるわけですが、ヴォリュームの軸と基板との関係は下掲の写真のようになっています。





音源は、下記の CD を選定し、CEC の携帯プレイヤーでの再生です。

Harumonia mundi HMM925296

ベートーヴェン ピアノと管楽器のための 5 重奏作品 16
アンサンブルディアローギ

Evidence EVCD015

ベートーヴェン Sonata for cello and piano No. 1
フランソワ＝フレデリック・ギィ (ピアノ)
グザヴィエ・フィリップ (チェロ)

ナクソス・ジャパン KCD-2078

モーツァルト ソナタ第 10 番ハ長調他
稲岡千架

DECCA UCDD9824

バッハ 無伴奏ソナタ・パルティータ
アルトゥール・グリユミオー

3. ヴォリュームアキュライザーVRA-7 の試聴結果

このシステムは、スケール感や解像度の良さを望むべくはありませんが、こぢんまりとしたウェルバランスの音がします。

ピアノと管楽器のための 5 重奏とチェロソナタは、演奏会で聴いています。

ピアノとピアノフォルテは、わずかに音が引き締まってきます。チェロや古楽器の管楽器群も若干滑らかになり、引き締まってきます。

モーツァルトのソナタでは、わずかに粗さが取れてピアノが引き締まってきますが、大きな変化とは言えません。

バッハの無伴奏ソナタは、わずかにグリユミオーのヴァイオリンの細かい音色が出るようになりますが、大きな変化とは言えません。

4. まとめ

ISOPHON 10cm フルレンジを駆動する SS 誌付録のデジタルアンプ LXA-OT1 のヴォリュームに VRA-7 を適用しましたが、わずかな変化はあるものの期待するような大きな効果とは言えません。

以上